

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	南風原町	代表者名	赤嶺 正之
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	098-889-3792
担当者役職	主事	担当者氏名	仲村 博樹
		連絡先E-mail	*****
住所	901-1195 沖縄県南風原町字兼城686番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	管理職を対象に、変革する（変わっていく）事に対するリーダーシップの大切さや部下に対する接し方、各組織の長としての心構えなどについてDXに対して抵抗感がある職員に対しても前向きになれる研修会であった。また、企画書の作成にあたっては、提案する相手を意識することが必要であり、そのためには普段から上司と部下のコミュニケーションの大切であり、コミュニケーションを取るための1on1の手法は、有効な方法だと感じた。講師の実体験に基づき内容で構成され、またゲームやグループワークを交えながらの体験型の講座であったため、長時間の研修であったが参加者全員が最後まで集中して受講できた。
アドバイザーへの要望事項	今回学んだことをいかすために今回の研修のフォローアップとして、次年度以降も継続的なアドバイスをお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月12日	講演(実地)	有	令和5年8月14日	875
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年11月8日	講演（実地）	10時00分	16時30分	90
				活動時間（分）	300
3-2. 派遣場所	会場名	南風原町役場	最寄駅	モノレール首里駅	
	所在地	沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	職員一人一人が「DXとはどういうものか」「なぜ今DXに取り組む必要があるか」などの基礎的な共通理解もできていない現況である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今回の地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し、職員のDXに対する認識共有と機運の醸成を図りたいと考えている。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	DXとは単にシステムを導入する事ではなく、業務改革（BPR）することもDXである。提案する際に、相手によって準備物（内容）が異なる。ハウレンソウは、人によってタイミングが異なる。効果分析表と概要書の作成方法、利用方法。KPI（重要業績評価指標）の重要性。フロー図の作成方法。等	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DXについて、抵抗のある管理職が居たが今回の講座を通してシステム導入ありきではなく、変わっていく事の重要性・必要性を知り、DX推進に向けて前向きに取り組んでいける環境となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 講座開催に伴う職員の機運醸成	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙添付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今回の地域情報化アドバイザー制度を活用して得られた知識や機運を令和6年度南風原町DX推進計画(仮称)策定に活かしつつ、今後の本町DX推進に繋げる。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

